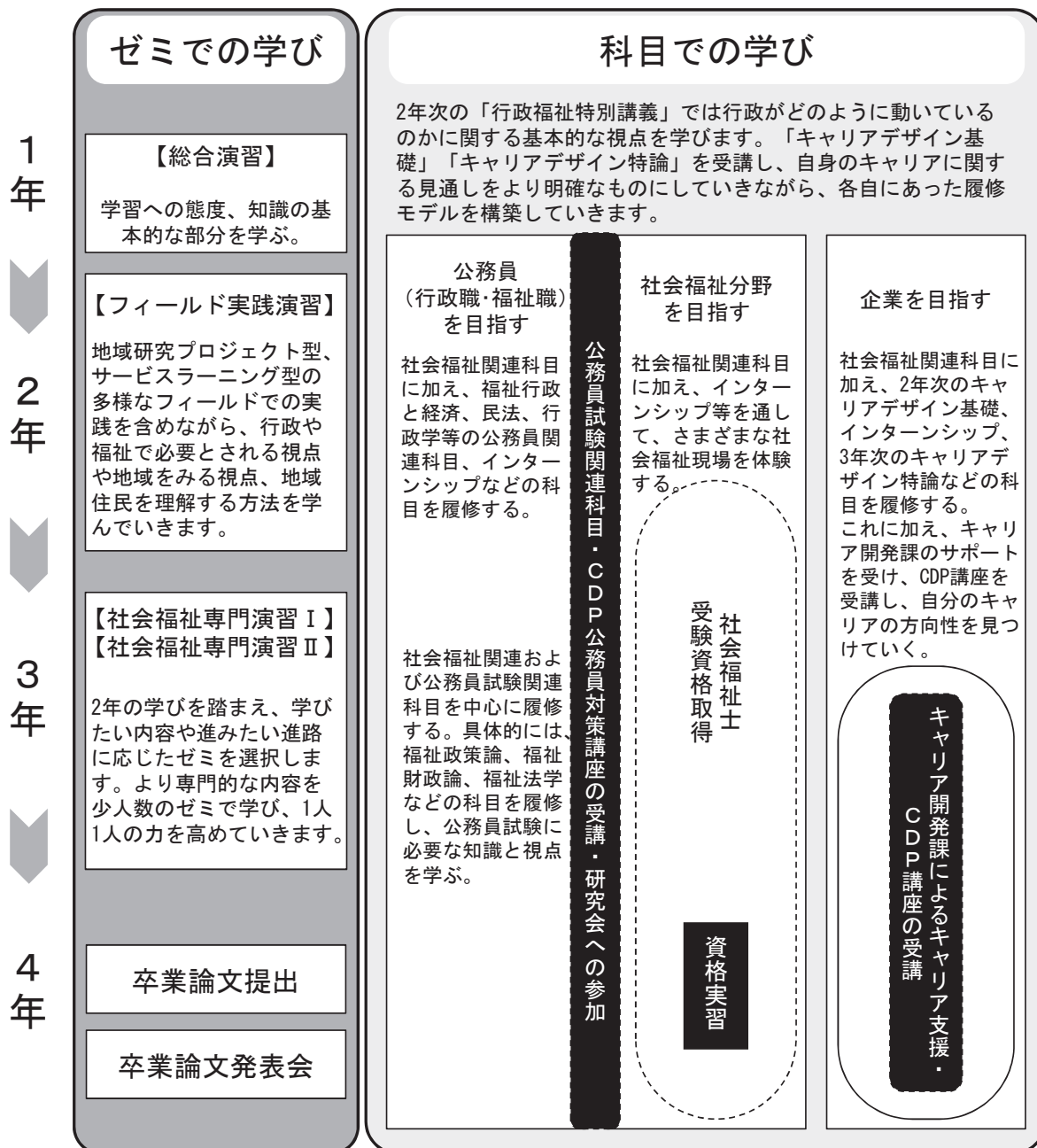


行政専修 学びの流れ

行政専修では、国家公務員、地方公務員（行政職・福祉職等）を真剣に目指し、1人1人が地域や社会に貢献していくことを実現させるに必要な知識、価値観、実行力を身に付けていくことを目標にします。具体的な学びの流れとしては、まず社会福祉関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めます。それと同時に、1年次から公務員試験に関連する科目を履修していきます。2年次にはインターンシップがあり、公務員行政職・福祉職等に関連した職業体験を希望することができます。3年次からの専門演習が始まり、より専門的な学習を進めます。これに加え、1年次から始まるCDPの公務員対策講座、自主的な研究会などへの参加を通して、4年次の6月以降に実施される各公務員試験に向け、学習とモチベーションの両面をサポートしていきます。自身の目標に向かって、4年間共にがんばっていきましょう！



社会福祉国家試験

履修モデル 【司法福祉職】志望の場合

[1年]

司法福祉職志望の場合は、法律の価値観やものの考え方、司法領域に関する基礎知識を学ぶとともに、社会福祉学の基礎となる科目、社会福祉士の資格取得に必要な科目を履修していきます。具体的には、福祉行政と経済、法入門、日本国憲法などの科目を履修します。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です（自由科目）。

[2年]

社会福祉学の主要な科目、社会福祉士の資格取得に必要な科目を履修します。併せて行政福祉特別講義、民法、行政法など公務員関連の科目を履修します。CDPの公務員関連講座を受講し、公務員試験合格に向けた基礎学力を固めていきます。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です（自由科目）。

[3年]

社会福祉学の主要な科目を幅広く学び、ソーシャルワークについて理解を深め、社会福祉士の資格取得に必要な科目を履修します。ソーシャルワーク実習を行い、大学での学びと現場での学びを統合させていきます。同時に将来、司法領域で働く公務員になるために必要な福祉法学や社会福祉関係法、労働法など、公務員試験の関連科目を履修します。引き続きCDPの公務員講座を受講し、公務員試験に向けた学習を重ねていきます。

開講 学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イグ リップⅠ-1 1 ●▼ フレッシュマン・イグ リップⅠ-2 1 ●☆ フレッシュマン・イグ リップⅡ-1 1 ●☆ フレッシュマン・イグ リップⅡ-2 1 ●☆▼ 情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆▼ 情報処理演習Ⅱ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 <p>全学教育センター科目の内、社会福祉学部の総合基礎科目修得単位数に算入する科目 法入門 2</p>	<p>【全専修 共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論Ⅰ 2 □◎☆ 社会福祉原論Ⅰ 2 □ 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 2 ☆▼ 児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践Ⅰ 2 <p>【行政専修】</p> <p>福祉行政と経済 2</p>	
総合基礎科目_小計 26		専門科目_小計 18	自由科目_小計 0
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ s フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 	<p>【全専修 共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> □☆ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 2 ☆ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 2 □☆ ソーシャルワークⅠ 2 □☆ ソーシャルワークⅡ 2 □◎☆ 社会福祉原論Ⅱ 2 □ 地域福祉論Ⅰ 2 □ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 <p>【行政専修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民法 4 行政法 4 ◎ 行政福祉特別講義 2 <p>【子ども専修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 教育原理（小林洋司先生担当か確認） 2 	
総合基礎科目_小計 14		専門科目_小計 30	自由科目_小計 0
3年	<ul style="list-style-type: none"> 現代基礎教養 2 	<p>【全専修 共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ソーシャルワークⅢ 2 ☆ ソーシャルワークⅣ 2 □ 社会保障論Ⅱ 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 ソーシャルワーク実習 5 ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎ 社会福祉専門演習Ⅰ 4 <p>【行政専修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共政策学 2 福祉政策論 2 労働法 4 社会福祉関係法 2 福祉法学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座Ⅰ 1
総合基礎科目_小計 2		専門科目_小計 38	自由科目_小計 1
4年		<p>【全専修 共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 地域福祉論Ⅱ 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎ 卒業論文 2 <p>【子ども専修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座Ⅱ 2 社会福祉特別講座Ⅲ 2
総合基礎科目_小計 0		専門科目_小計 12	自由科目_小計 4
総合基礎科目_合計 42		専門科目_合計 98	自由科目_合計 5
		要単位数合計 140	総単位数合計 145

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、s：スクールソーシャルワーカー科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

1. 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
2. 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位数合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含みません。
3. 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
4. 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【行政職】志望の場合

【1年】

公務員行政職志望の場合は、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法入門、日本国憲法などの科目を履修します。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です（自由科目）。

【2年】

社会福祉学に関する重要科目と、行政福祉特別講義、民法、行政法、行政学、地方自治論など公務員関連科目を履修します。CDPの公務員関連講座を受講し、公務員試験に向けた基礎学力を固めます。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です（自由科目）。

【3年】

司法福祉や社会保障論Ⅱなど公務員試験に関連のある社会福祉学の科目を履修すると同時に、公共政策学や福祉政策論、福祉財政論など公務員試験の関連科目を履修します。CDPの公務員講座を受講し、公務員試験に向けた学習を深化させます。

開講学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆☆ 社会福祉入門 2 ◎☆☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フラグメント・イグ リクチュ I-1 1 ●▼ フラグメント・イグ リクチュ I-2 1 ●☆☆ フラグメント・イグ リクチュ II-1 1 ●☆☆ フラグメント・イグ リクチュ II-2 1 ◎☆☆ 情報処理演習 I 2 ◎☆☆ 情報処理演習 II 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆☆ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆☆ 高齢者福祉論 2 ☆☆ 児童・家庭福祉論 2 ☆☆ 地域マネジメント実践 I 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 福祉行政と経済 2 	
	<p>全学教育センター科目内、社会福祉学部の総合基礎科目修得単位数に算入する科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 法入門 2 			
総合基礎科目 小計 26		専門科目 小計 18	自由科目 小計 0	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎§ フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ☆☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □●☆☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆☆ 障害者福祉論 2 地域マネジメント実践 II 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 地方自治論 2 民法 4 行政法 4 行政学 2 インターンシップ I 1 ◎ 行政福祉特別講義 2 【子ども専修】 ▼ 教育原理（小林洋司先生担当が確認） 2 	
	総合基礎科目 小計 14	専門科目 小計 29	自由科目 小計 0	
3年	<ul style="list-style-type: none"> 現代基礎教養 2 スウェーデンの社会と福祉 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □ 社会保障論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 地域マネジメント実践 III 2 【行政専修】 公共政策学 2 福祉財政論 2 福祉環境論 2 福祉政策論 2 労働法 4 社会福祉関係法 2 福祉法学 2 福祉行政とまちづくり 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【医療専修】 社会福祉データ解析入門 2 【人間福祉専修】 東アジアの社会福祉 1 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 I 1
	総合基礎科目 小計 4	専門科目 小計 35	自由科目 小計 1	
4年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □ 地域福祉論 II 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 		<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2
	総合基礎科目 小計 0	専門科目 小計 10	自由科目 小計 4	
総合基礎科目 合計 44		専門科目 合計 92	自由科目 合計 5	
		要卒単位数合計 136	総単位数合計 141	

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：ソーシャルワーク科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

【注記】

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含みません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【行政職】志望の場合

[1年]

公務員福祉職志望の場合は、社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めつつ、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法入門、日本国憲法などの科目の履修が重要になります。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。

[2年]

社会福祉士関連科目、行政福祉特別講義を履修します。インターンシップを履修することにより、役場、社協など公務員と関連する現場の状況を体験的に把握します。CDPの公務員関連講座を受講し、公務員試験に向けた基礎学力を固めます。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。

[3年]

社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学への理解を一層深めます。CDPの公務員講座を受講し、公務員対策に関する学習を進めていきます。

開講学年	総合基礎科目	【 】はその専修の履修モデル(推奨科目)であり他専修も履修可能	自由科目(資格独自科目を含む)	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イック リッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イック リッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イック リッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イック リッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 □ 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践 I 2 【行政専修】 福祉行政と経済 2 		
	<p>全学教育センター科目内の、社会福祉学部の総合基礎科目修得単位数に算入する科目 法入門 2</p>			
総合基礎科目_小計 26		専門科目_小計 18	自由科目_小計 0	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 福祉データ処理演習 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □☆ ソーシャルワーク I 2 □☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 □ ソーシャルワーク演習 II 1 □ ソーシャルワーク実習入門 1 □ ソーシャルワーク実習指導 I 1 □ 地域マネジメント実践 II 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 地方自治論 2 行政学 2 インターンシップ I 1 ◎ 行政福祉特別講義 2 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネススキル 2
	総合基礎科目_小計 14		専門科目_小計 27	自由科目_小計 2
3年	<ul style="list-style-type: none"> 現代基礎教養 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 ☆ ソーシャルワーク III 2 ☆ ソーシャルワーク IV 2 □ 社会保障論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 キャリアデザイン特論 2 □ ソーシャルワーク実習指導 II 2 □ ソーシャルワーク実習 5 □ ソーシャルワーク演習 III 2 □ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 □ 地域マネジメント実践 III 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 公共政策学 2 福祉財政論 2 福祉政策論 2 福祉行政とまちづくり 2 【人間福祉専修】 多文化ソーシャルワーク論 1 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 I 1
	総合基礎科目_小計 2		専門科目_小計 39	自由科目_小計 1
4年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □ 地域福祉論 II 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2 	
	総合基礎科目_小計 0		専門科目_小計 10	自由科目_小計 4
総合基礎科目_合計 42		専門科目_合計 94	自由科目_合計 7	
		要卒単位数合計 136	総単位数合計 7	

●: 必修科目、◎: 全員履修科目、※: 隔年で開講する科目

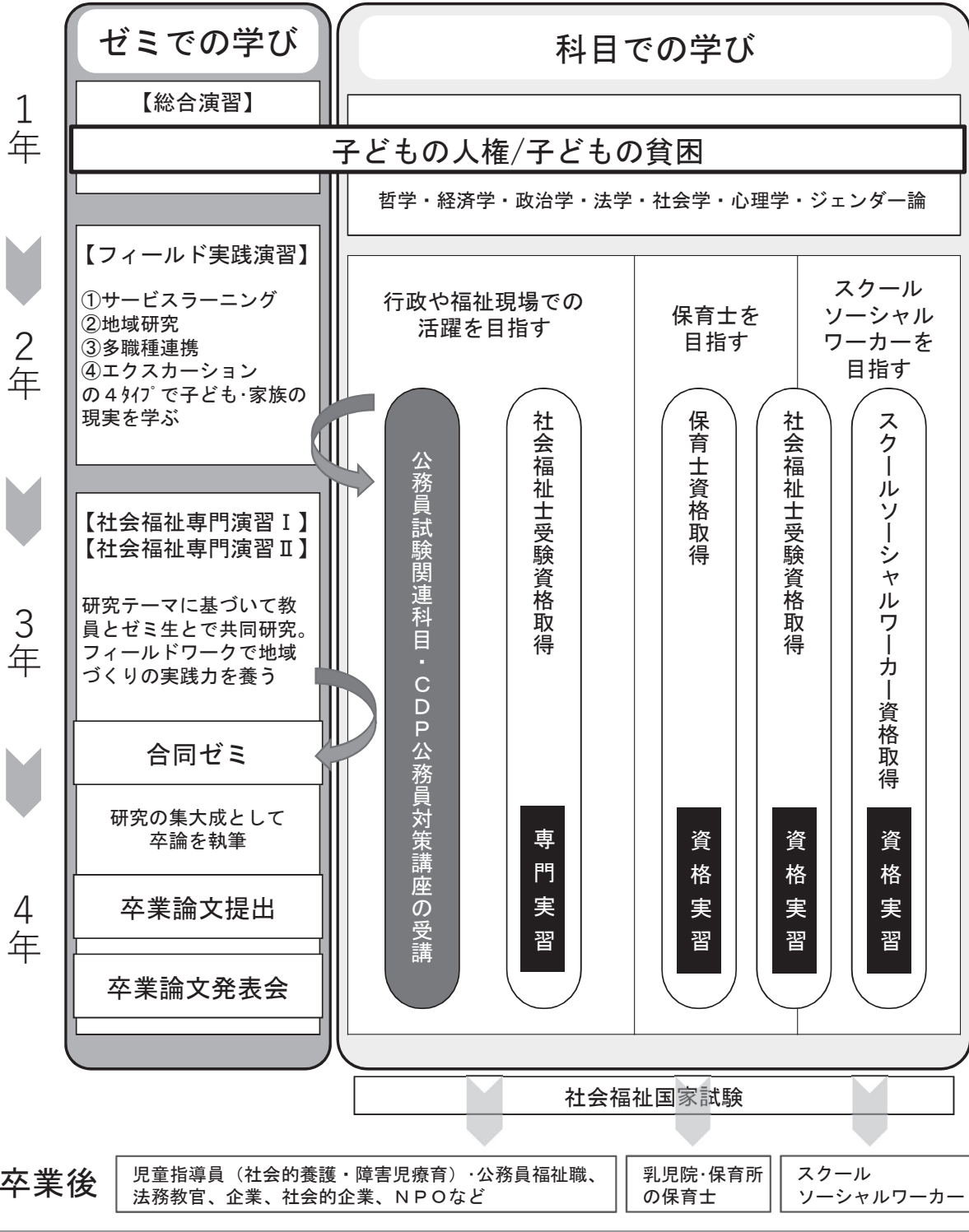
資格対応科目 → 網掛け: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、☆: 教職(高校福祉)科目、▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目、資格独自科目: 当該課程登録者のみ履修可

[注記]

1. 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
2. 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位数合計数の上限のことです。ただし、自由科目(資格独自科目)は含まれません。
3. 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
4. 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

子ども専修 学びの流れ

子ども専修では、「子どもの人権」を基軸に子どもの貧困・虐待など、子ども・家族をめぐる社会問題を多角的に、考え、解決するために必要な価値観・知識・技能を身につけ、制度を創り出す専門職を育てます。そのために、1・2年次には社会のしくみや問題の本質を理解し、3・4年次には子ども・家族をめぐる各領域の課題を学びます。2～4年のゼミでは、これら学び得た知識・技能を活用し、子ども・家族が実際に生活する地域に入り、社会で求められる実践力を身につけます。



履修モデル 【社会的養護領域の職員】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 【子ども専修】 家族と地域の社会学 2 子どもの文化・遊び研究 2 		
	総合基礎科目_小計 30	専門科目_小計 18	自由科目_小計 0	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □☆ ソーシャルワーク I 2 □☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 ▼ 福祉労働論 2 ◎▼ 子ども福祉特別講義 2 	
	総合基礎科目_小計 12	専門科目_小計 36	自由科目_小計 0	
3年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 ☆ ソーシャルワーク III 2 ☆ ソーシャルワーク IV 2 □ 社会保障論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ソーシャルワーク実習 5 ソーシャルワーク演習 III 2 ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 福祉財政論 2 【子ども専修】 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 障害児心理学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 I 1
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 36	自由科目_小計 1	
4年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □ 地域福祉論 II 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 ▼ 学童保育論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 14	自由科目_小計 4	
総合基礎科目_合計 42		専門科目_合計 104	自由科目_合計 5	
		要卒業単位数合計 146	総単位数合計 151	

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーク科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

【注記】

1. 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
2. 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含みません。
3. 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
4. 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【障害児療育領域の職員】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・インク リアクション I-1 1 ●▼ フレッシュマン・インク リアクション I-2 1 ●☆ フレッシュマン・インク リアクション II-1 1 ●☆ フレッシュマン・インク リアクション II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ▼ 健康スポーツ論 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 2 ☆▼ 5 児童・家庭福祉論 2 【子ども専修】 家族と地域の社会学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【人間福祉専修】 障害者コミュニケーション 2 	
	総合基礎科目_小計 30	専門科目_小計 18	自由科目_小計 0	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 5 フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 ジェンダー論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □☆ ソーシャルワーク I 2 □☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 保育原理 I 2 ▼ 保育原理 II 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 ▼ 福祉労働論 2 ◎▼ 子ども福祉特別講義 2 	
	総合基礎科目_小計 10	専門科目_小計 36	自由科目_小計 0	
3年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 ☆ ソーシャルワーク III 2 ☆ ソーシャルワーク IV 2 □ 社会保障論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ソーシャルワーク実習 5 ソーシャルワーク演習 III 2 ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 福祉財政論 2 【子ども専修】 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ☆ 5 スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 障害児心理学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 I 1
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 36	自由科目_小計 1	
4年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □ 地域福祉論 II 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 ソーシャルワーク専門実習指導（障害） 1 ソーシャルワーク専門実習（障害） 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 ▼ 学童保育論 2 【人間福祉専修】 障害者福祉論特講 2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 19	自由科目_小計 4	
	総合基礎科目_合計 40	専門科目_合計 109	自由科目_合計 5	
	要卒業単位数合計	149	総単位数合計 154	

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、5：スクールソーシャルワーク科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

【注記】

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位数合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含みません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【スクールソーシャルワーカー】をめざす場合

開講 学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）				
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合演習 4 ☆ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎☆ 社会福祉入門 2 ◎☆ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・ینگ' リッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・ینگ' リッシュ I-2 1 ●☆ フレッシュマン・ینگ' リッシュ II-1 1 ●☆ フレッシュマン・ینگ' リッシュ II-2 1 ●☆▼ 情報処理演習 I 2 ◎☆▼ 情報処理演習 II 2 ☆▼ スポーツ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●☆▼ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 公的扶助論 2 ☆ 高齢者福祉論 2 ☆▼ § 児童・家庭福祉論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 家族と地域の社会学 2 子どもの文化・遊び研究 2 【医療専修・人間福祉専修 共通】 □ § 精神保健学 I 2 				
	総合基礎科目_小計	28	専門科目_小計	20	自由科目_小計	0	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎ § フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □☆ ソーシャルワーク I 2 □☆ ソーシャルワーク II 2 □●☆ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □☆ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 □ ソーシャルワーク演習 II 1 □ ソーシャルワーク実習入門 1 □ ソーシャルワーク実習指導 I 1 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 教育原理 2 ▼ 子どもの保健 2 ◎▼ 子ども福祉特別講義 2 	<ul style="list-style-type: none"> 教職入門（中高） 2 教育と発達心理学（中高） 2 教育相談の基礎と方法（中高） 2 教育制度論（中高） 2 			
	総合基礎科目_小計	12	専門科目_小計	30	自由科目_小計	8	
3年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 ☆ ソーシャルワーク III 2 ☆ ソーシャルワーク IV 2 □ 社会保障論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 □ ソーシャルワーク実習指導 II 2 □ ソーシャルワーク実習 5 □ ソーシャルワーク演習 III 2 □ ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 福祉財政論 2 【子ども専修】 ▼ 家族援助論 2 ☆ § スクールソーシャルワーク論 2 § 福祉教育論 1 ▼ 障害児心理学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・進路指導論（中高） 2 特別支援教育概論（中高） 2 社会福祉特別講座 I 1 			
	総合基礎科目_小計	0	専門科目_小計	35	自由科目_小計	5	
4年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □ 地域福祉論 II 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 ▼ 学童保育論 2 	<ul style="list-style-type: none"> スクールソーシャルワーク演習 1 スクールソーシャルワーク実習指導 1 スクールソーシャルワーク実習 2 社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2 			
	総合基礎科目_小計	0	専門科目_小計	14	自由科目_小計	8	
総合基礎科目_合計		40	専門科目_合計		99	自由科目_合計	21
要卒単位数合計			139	総単位数合計			160

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーカー科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含みません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【乳児院・保育所等保育士】をめざす場合

開講学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◎総合演習 4 ☆日本国憲法 2 哲学 2 □社会学 2 □▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1 ●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1 1 ●☆フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2 1 ●☆▼情報処理演習Ⅰ 2 ◎☆▼情報処理演習Ⅱ 2 ☆▼スポーツ 2 ▼健康スポーツ論 2 ●ふくしとフィールドワーク 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆医学概論 2 □社会保障論Ⅰ 2 □◎☆社会福祉原論Ⅰ 2 □社会福祉調査論 2 □公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論 2 ☆▼§ 児童・家庭福祉論 2 【子ども専修】 家族と地域の社会学 2 		
	総合基礎科目_小計 30	専門科目_小計 16	自由科目_小計 0	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◎§ フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 ジェンダー論 2 	<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □☆ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 2 ☆ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 2 □☆ソーシャルワークⅠ 2 □☆ソーシャルワークⅡ 2 □◎☆社会福祉原論Ⅱ 2 □地域福祉論Ⅰ 2 □障害者福祉論 2 □ソーシャルワーク演習Ⅰ 1 □ソーシャルワーク演習Ⅱ 1 □ソーシャルワーク実習入門 1 □ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども専修】 ▼社会的養護 2 ▼臨床心理学 2 ▼発達心理学 2 ▼保育原理Ⅰ 2 ▼保育原理Ⅱ 2 ▼教育原理 2 ▼子どもの保健 2 ▼福祉労働論 2 ◎▼子ども福祉特別講義 2 	<ul style="list-style-type: none"> 保育職論 2 保育の心理学 2 保育内容総論 1 保育内容A（からだと健康） 1 保育内容B（仲間と交わり） 1 子どもの保健演習 1 子どもの食と栄養演習 2 保育・教育課程論 2 保育内容E（感性と表現） 1 乳児保育演習 1 音楽演習 1 造形演習 1 身体表現演習 1 乳児保育論 2 子どもの理解と援助 1 子ども家庭支援の心理学 2
	総合基礎科目_小計 10	専門科目_小計 36	自由科目_小計 22	
3年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 ☆ソーシャルワークⅢ 2 ☆ソーシャルワークⅣ 2 □社会保障論Ⅱ 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □司法福祉論 2 □ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2 □ソーシャルワーク実習 5 □ソーシャルワーク演習Ⅲ 2 □ソーシャルワーク演習Ⅳ 1 ◎社会福祉専門演習Ⅰ 4 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政専修】 福祉財政論 2 【子ども専修】 ▼施設福祉論 2 ▼家族援助論 2 ☆§ スクールソーシャルワーク論 2 ▼障害児心理学 2 	<ul style="list-style-type: none"> 保育内容C（生活と環境） 1 保育内容D（発達と言葉） 1 障害児保育演習 2 社会的養護内容演習 1 言語表現演習 1 保育実習Ⅰ-A 2 保育実習指導Ⅰ-A 1 子育て支援演習 1 社会福祉特別講座Ⅰ 1
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 36	自由科目_小計 11	
4年		<ul style="list-style-type: none"> 【全専修 共通】 □地域福祉論Ⅱ 2 □権利擁護を支える法制度 2 ●社会福祉専門演習Ⅱ 4 ◎卒業論文 2 【子ども専修】 ▼子ども家庭ソーシャルワーク論 2 ▼学童保育論 2 		<ul style="list-style-type: none"> 保育実践演習 2 保育実習Ⅰ-B 2 保育実習指導Ⅰ-B 1 保育実習Ⅱ（保育所） 2 保育実習Ⅲ（施設） 2 保育実習指導Ⅱ（保育所） 1 保育実習指導Ⅲ（施設） 1 社会福祉特別講座Ⅱ 2 社会福祉特別講座Ⅲ 2
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 14	自由科目_小計 15	
	総合基礎科目_合計 40	専門科目_合計 102	自由科目_合計 48	
		要単位数合計 142	総単位数合計 190	

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：ｽｸｰﾙ-ｼﾞｮｲﾝﾄ科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含みません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【児童相談所等公務員福祉職】をめざす場合

開講学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル(推奨科目)であり他専修も履修可能	自由科目(資格独自科目を含む)
1年	◎ 総合演習 4 ★ 日本国憲法 2 哲学 2 □ 社会学 2 □▼ 心理学 2 ◎★ 社会福祉入門 2 ◎★ ライフデザイン入門 2 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1 ●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1 ●★ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1 ●★ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1 ●★▼ 情報処理演習 I 2 ◎★▼ 情報処理演習 II 2 ★▼ スポーツ 2 ● ふくしとフィールドワーク 2	【全専修 共通】 □★ 医学概論 2 □ 社会保障論 I 2 □●★▼ 社会福祉原論 I 2 □ 社会福祉調査論 2 公的扶助論 2 ★ 高齢者福祉論 2 ★▼ § 児童・家庭福祉論 2 地域マネジメント実践 I 2 【行政専修】 福祉行政と経済 2	
	全学教育センター科目内、社会福祉学部の 総合基礎科目修得単位数に算入する科目 法入門 2		
	総合基礎科目_小計 30	専門科目_小計 18	自由科目_小計 0
2年	◎ § フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 経済政策論 2 現代生活論 2 ジェンダー論 2	【全専修 共通】 □★ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ★ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □★ ソーシャルワーク I 2 □★ ソーシャルワーク II 2 □●★ 社会福祉原論 II 2 □ 地域福祉論 I 2 □★ 障害者福祉論 2 □ ソーシャルワーク演習 I 1 ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1 地域マネジメント実践 II 2	【行政専修】 地方自治論 2 行政学 2 【子ども専修】 ▼ 社会的養護 2 ▼ 臨床心理学 2 発達心理学 2 ▼ 福祉労働論 2 ◎▼ 子ども福祉特別講義 2 【医療専修】 保健社会学 2
	総合基礎科目_小計 12	専門科目_小計 36	自由科目_小計 0
3年		【全専修 共通】 ★ ソーシャルワーク III 2 ★ ソーシャルワーク IV 2 □ 社会保障論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □ 司法福祉論 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ソーシャルワーク実習 5 ソーシャルワーク演習 III 2 ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎ 社会福祉専門演習 I 4 地域マネジメント実践 III 2	【行政専修】 社会福祉特別講座 I 1 福祉財政論 2 福祉環境論 2 福祉政策論 2 社会福祉関係法 2 福祉法学 2 【子ども専修】 ▼ 施設福祉論 2 ▼ 家族援助論 2 ★ § スクールソーシャルワーク論 2 ▼ 障害児心理学 2
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 46	自由科目_小計 1
4年		【全専修 共通】 □ 地域福祉論 II 2 □ 権利擁護を支える法制度 2 ● 社会福祉専門演習 II 4 ◎ 卒業論文 2 ソーシャルワーク専門実習指導 1 ソーシャルワーク専門実習 2 実習指導支援演習 2	【子ども専修】 ▼ 子ども家庭ソーシャルワーク論 2 社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 17	自由科目_小計 4
	総合基礎科目_合計 42	専門科目_合計 117	自由科目_合計 5
	要卒単位数合計	159	総単位数合計 164

●: 必修科目、◎: 全員履修科目、※: 隔年で開講する科目

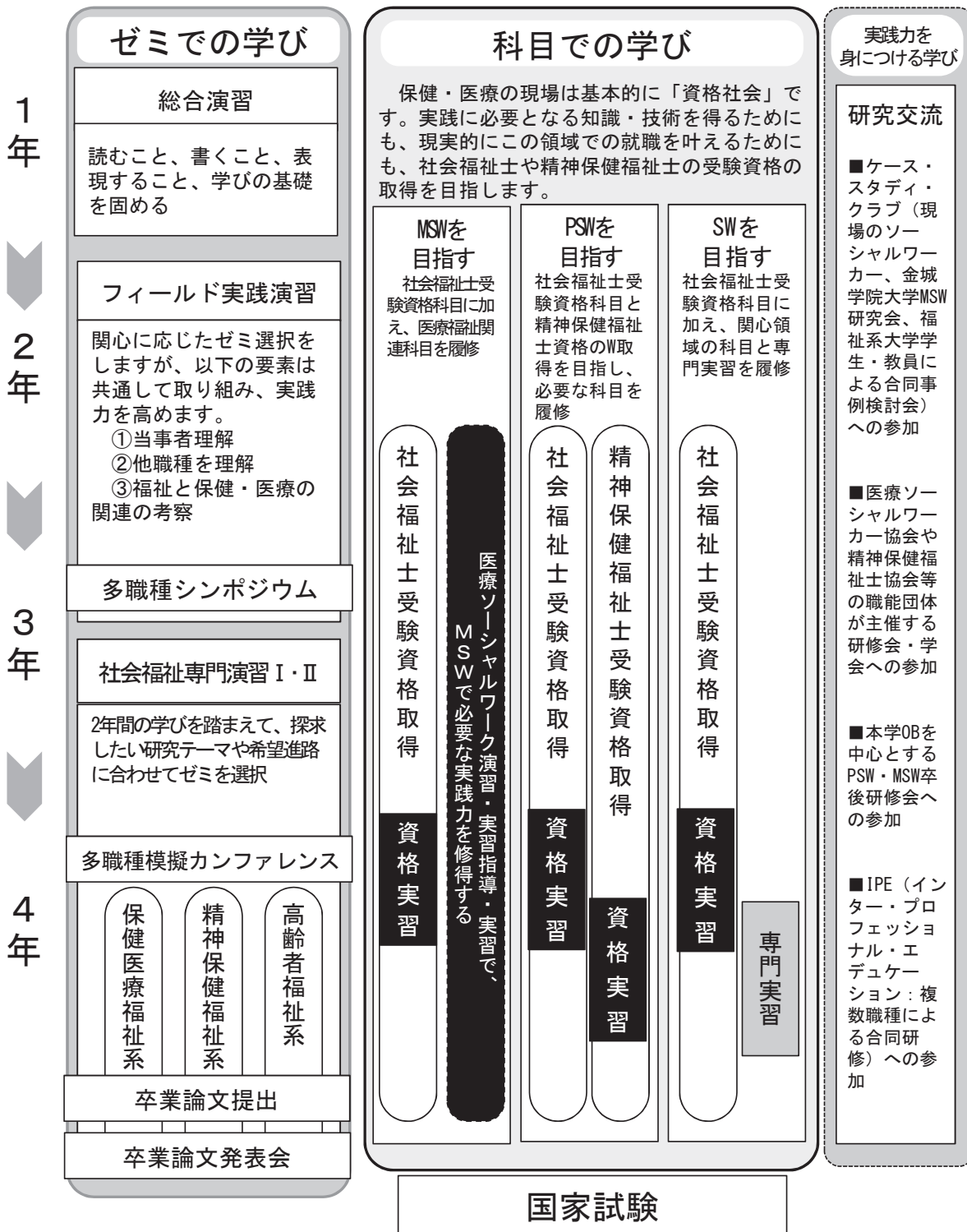
資格対応科目 → 網掛け: 社会福祉士科目、□: 精神保健福祉士科目、★: 教職(高校福祉)科目、▼: 保育士科目、§: スクールソーシャルワーク科目、資格独自科目: 当該課程登録者のみ履修可

【注記】

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目(資格独自科目)は含みません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

医療専修 学びの流れ

医療専修では、保健・医療と社会福祉をつなぐ力を持った人材を養成します。目の前にいる人のより良い人生のために、すべての人に公正な社会を実現するために、現状を変革する目と力を養います。ここでは、医療ソーシャルワーカー（MSW）と精神保健福祉士（PSW）を目指すケースを例にあげ、学びの流れを示しています。それ以外の職を目指す場合でも、保健医療福祉領域で働くには相当の知識・技術が求められます。該当科目をしっかり履修し、価値に根ざした知識と技術を身につけていきます。



ゼミでの学び

総合演習

読むこと、書くこと、表現すること、学びの基礎を固める

フィールド実践演習

関心に応じたゼミ選択をしますが、以下の要素は共通して取り組み、実践力を高めます。

- ①当事者理解
- ②他職種を理解
- ③福祉と保健・医療の関連の考察

多職種シンポジウム

社会福祉専門演習 I・II

2年間の学びを踏まえて、探求したい研究テーマや希望進路に合わせてゼミを選択

多職種模擬カンファレンス

保健医療福祉系

精神保健福祉系

高齢者福祉系

卒業論文提出

卒業論文発表会

科目での学び

保健・医療の現場は基本的に「資格社会」です。実践に必要な知識・技術を得るためにも、現実的にこの領域での就職を叶えるためにも、社会福祉士や精神保健福祉士の受験資格の取得を目指します。

MSWを目指す

社会福祉士受験資格科目に加え、医療福祉関連科目を履修

社会福祉士受験資格取得

資格実習

PSWを目指す

社会福祉士受験資格科目と精神保健福祉士資格のW取得を目指し、必要な科目を履修

社会福祉士受験資格取得

資格実習

精神保健福祉士受験資格取得

資格実習

SWを目指す

社会福祉士受験資格科目に加え、関心領域の科目と専門実習を履修

社会福祉士受験資格取得

資格実習

専門実習

実践力を身につける学び

研究交流

■ケース・スタディ・クラブ（現場のソーシャルワーカー、金城学院大学MSW研究会、福祉系大学学生・教員による合同事例検討会）への参加

■医療ソーシャルワーカー協会や精神保健福祉士協会等の職能団体が主催する研修会・学会への参加

■本学OBを中心とするPSW・MSW卒業後研修会への参加

■IPE（インター・プロフェッショナル・エデュケーション：複数職種による合同研修）への参加

国家試験

履修モデル 【精神保健領域のソーシャルワーカー】をめざす場合

[2・3年]
 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得を目指し、バランスよく履修していきます。
 [4年]
 資格科目（精神保健福祉士援助演習・実習を中心に履修し、卒業論文完成、国家試験合格を目指して取り組んでいきます。）

開講学年	総合基礎科目	【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	専門科目（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）
1年	◎ 総合演習 4	【全専修 共通】	【医療専修・人間福祉専修 共通】	
	☆ 日本国憲法 2	□☆ 医学概論 2	□ 精神障害リハビリテーション論 2	
	哲学 2	□ 社会保障論 I 2	□ 精神保健学 I 2	
	□ 社会学 2	□●☆ 社会福祉原論 I 2		
	□▼ 心理学 2	□ 社会福祉調査論 2		
	◎☆ 社会福祉入門 2	公的扶助論 2		
	◎☆ ライフデザイン入門 2	☆ 高齢者福祉論 2		
	●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-1 1	☆▼ 児童・家庭福祉論 2		
	●▼ フレッシュマン・イングリッシュ I-2 1	地域マネジメント実践 I 2		
	●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-1 1	社会福祉発達史 I 2		
●☆ フレッシュマン・イングリッシュ II-2 1				
●☆▼ 情報処理演習 I 2				
◎☆▼ 情報処理演習 II 2				
● ふくしとフィールドワーク 2				
	総合基礎科目_小計 26		専門科目_小計 22	自由科目_小計 0
2年	◎ 〇 フィールド実践演習 4	【全専修 共通】	【医療専修・人間福祉専修 共通】	
		□☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2	□ 精神医学 I 2	
		☆ ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2	□ 精神医学 II 2	
		□☆ ソーシャルワーク I 2	□ 精神保健学 II 2	
		□☆ ソーシャルワーク II 2	□ 精神保健福祉制度論 2	
		□●☆ 社会福祉原論 II 2	【医療専修】	
		□ 地域福祉論 I 2	保健社会学 2	
		□☆ 障害者福祉論 2	医療福祉論 I 2	
		□ ソーシャルワーク演習 I 1	保健医療福祉論特講 2	
		□ ソーシャルワーク演習 II 1	◎ 医療福祉特別講義 2	
	□ ソーシャルワーク実習入門 1			
	□ ソーシャルワーク実習指導 I 1			
	□ 地域マネジメント実践 II 2			
	【子ども専修】			
	▼ 臨床心理学 2			
	▼ 発達心理学 2			
	総合基礎科目_小計 4		専門科目_小計 40	自由科目_小計 0
3年	死生学 2	【全専修 共通】	【医療専修・人間福祉専修 共通】	社会福祉特別講座 I 1
		☆ ソーシャルワーク III 2	□ 精神保健福祉論 4	
		☆ ソーシャルワーク IV 2	□ 精神保健領域のソーシャルワーク I 2	
		□ 社会保障論 II 2	□ 精神保健福祉援助演習 I 1	
		保健医療と福祉 2	□ 精神保健福祉援助実習指導 I 1	
		社会福祉経営論 2	【人間福祉専修】	
		□ 司法福祉論 2	☆ ケアマネジメント論 2	
		□ ソーシャルワーク実習指導 II 2	☆ ケアマネジメント演習 2	
		□ ソーシャルワーク実習 5		
		□ ソーシャルワーク演習 III 2		
	□ ソーシャルワーク演習 IV 1			
	◎ 社会福祉専門演習 I 4			
	【行政専修】			
	福祉財政論 2			
	【子ども専修】			
	▼ 障害児心理学 2			
	総合基礎科目_小計 2		専門科目_小計 42	自由科目_小計 1
4年		【全専修 共通】	【医療専修・人間福祉専修 共通】	社会福祉特別講座 II 2
		□ 地域福祉論 II 2	□ 精神保健領域のソーシャルワーク II 2	社会福祉特別講座 III 2
		□ 権利擁護を支える法制度 2	□ 精神保健福祉援助演習 II 2	
		● 社会福祉専門演習 II 4	□ 精神保健福祉援助実習指導 II 2	
		◎ 卒業論文 2	□ 精神保健福祉援助実習 5	
		【人間福祉専修】		
		障害者福祉論特講 2		
	総合基礎科目_小計 0		専門科目_小計 23	自由科目_小計 4
	総合基礎科目_合計 32		専門科目_合計 127	自由科目_合計 5
		要卒単位数合計 159		総単位数合計 164

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目
 資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：スモールソーシャルワーク科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位数合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含まれません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 【医療ソーシャルワーカー】をめざす場合

[2・3年]
社会福祉士受験科目に加え、保健医療福祉関連科目を履修していきます。

[4年]
医療ソーシャルワーク演習・実習指導・実習やターミナルケアの履修により、MSWとしての実践的な知識・技術を高めていきます。

開講学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル(推奨科目)であり他専修も履修可能	自由科目(資格独自科目を含む)
1年	◎総合演習 4	【全専修 共通】	
	★日本国憲法 2	□★医学概論 2	
	哲学 2	□社会保険論 I 2	
	□社会学 2	□●★社会福祉原論 I 2	
	□▼心理学 2	□社会福祉調査論 2	
	◎★社会福祉入門 2	□公的扶助論 2	
	◎★ライフデザイン入門 2	★高齢者福祉論 2	
	●▼フレックス・インク リング I-1 1	★▼§ 児童・家庭福祉論 2	
	●▼フレックス・インク リング I-2 1	社会福祉発達史 I 2	
	●★フレックス・インク リング II-1 1		
●★フレックス・インク リング II-2 1			
●★情報処理演習 I 2			
◎★▼情報処理演習 II 2			
●ふくしとフィールドワーク 2			
全学教育センター科目内の、社会福祉学部の総合基礎科目修得単位数に算入する科目 ことろからだ 2 ヒューマンケアのための多職種連携 2			
総合基礎科目_小計 30		専門科目_小計 16	自由科目_小計 0
2年	◎§ フィールド実践演習 4	【全専修 共通】	【医療専修・人間福祉専修 共通】
		□★ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2	□精神医学 I 2
		★ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2	□精神医学 II 2
		□★ソーシャルワーク I 2	□精神保健学 II 2
		□★ソーシャルワーク II 2	□精神保健福祉制度論 2
		□●★社会福祉原論 II 2	【医療専修】
		□地域福祉論 I 2	リハビリテーション医学 2
		□★障害者福祉論 2	保健社会学 2
		□ソーシャルワーク演習 I 1	医療福祉論 I 2
		ソーシャルワーク演習 II 1	保健医療福祉論特講 2
	ソーシャルワーク実習入門 1	◎医療福祉特別講義 2	
	ソーシャルワーク実習指導 I 1	【人間福祉専修】	
	【子ども専修】	★介護福祉論 2	
	▼臨床心理学 2		
	発達心理学 2		
総合基礎科目_小計 4		専門科目_小計 42	自由科目_小計 0
3年	死生学 2	【全専修 共通】	【医療専修・人間福祉専修 共通】
		★ソーシャルワークⅢ 2	□精神保健福祉論 4
		★ソーシャルワークⅣ 2	□精神保健領域のソーシャルワーク I 2
		□社会保険論 II 2	【行政専修】
		保健医療と福祉 2	福祉財政論 2
		社会福祉経営論 2	【子ども専修】
		□司法福祉論 2	▼家族援助論 2
		ソーシャルワーク実習指導 II 2	【医療専修】
		ソーシャルワーク実習 5	医療福祉論 II 2
		ソーシャルワーク演習Ⅲ 2	【人間福祉専修】
	ソーシャルワーク演習Ⅳ 1	★ケアマネジメント論 2	
	◎社会福祉専門演習 I 4	★ケアマネジメント演習 2	
総合基礎科目_小計 2		専門科目_小計 42	自由科目_小計 1
4年		【全専修 共通】	【医療専修】
		□地域福祉論 II 2	ターミナルケア 2
		□権利擁護を支える法制度 2	医療ソーシャルワーク演習 2
		●社会福祉専門演習 II 4	医療ソーシャルワーク実習指導 1
		◎卒業論文 2	医療ソーシャルワーク実習 2
総合基礎科目_小計 0		専門科目_小計 17	自由科目_小計 4
総合基礎科目_合計 36		専門科目_合計 117	自由科目_合計 5
要卒単位数合計		153	総単位数合計 158

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

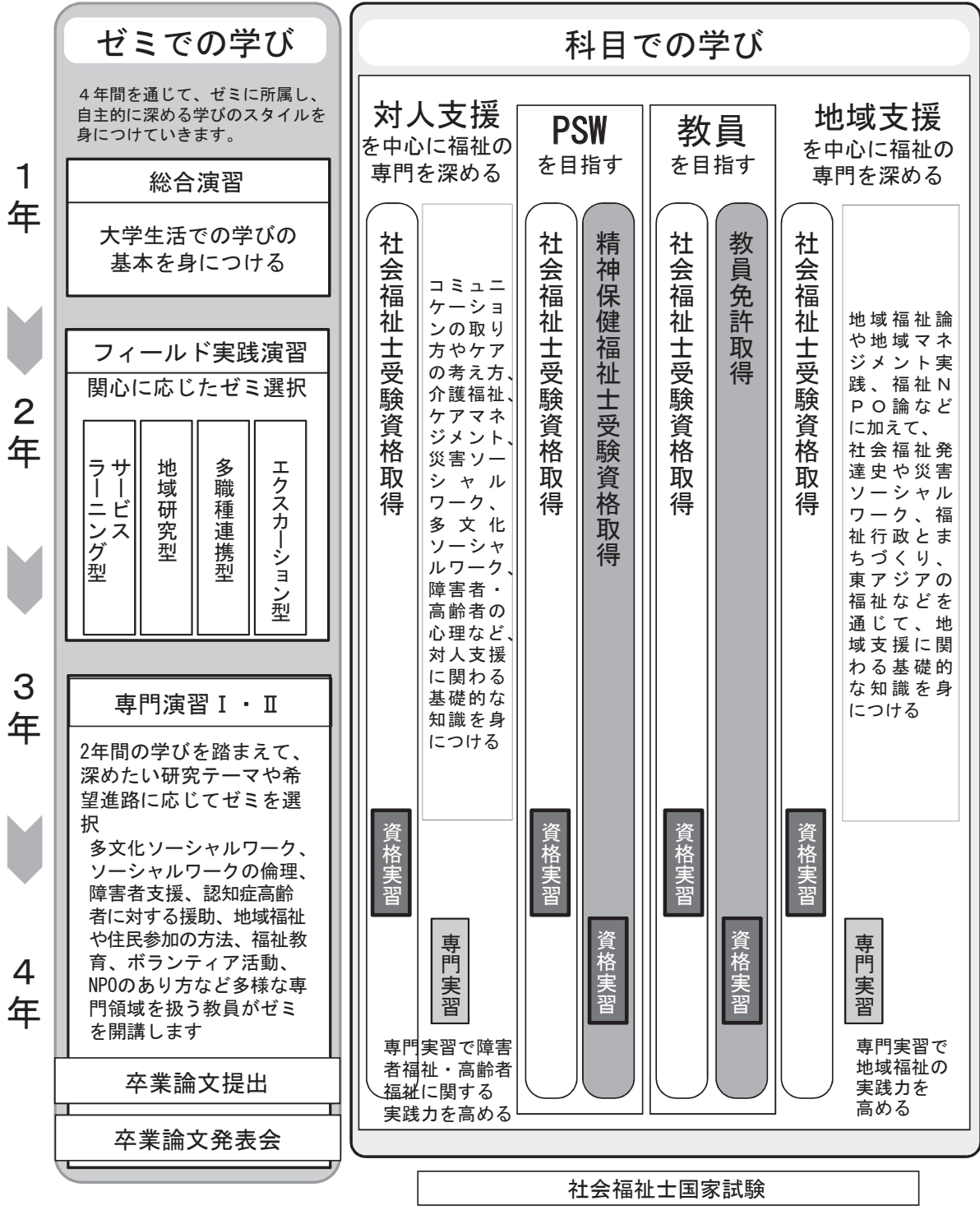
資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、★：教職(高校福祉)科目、▼：保育士科目、§：ｽｸｰﾙ-ｼﾞｮﾌﾞ-ｷｬﾝﾍﾞﾙ科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目(資格独自科目)は含みません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

人間福祉専修 学びの流れ

人間福祉専修では、高齢者や障害者をはじめ、母子世帯、生活困窮世帯など地域での生活を送る上で様々な困難を抱えている人たちに対して、多様な一人ひとりの問題解決に向けた個別の支援から地域にはたらきかけて行う支援までを幅広く担うための知識・技術について学びを深めていきます。
 なお、本専修では、指定科目を履修することにより、社会福祉士の受験資格のほか、精神保健福祉士（PSW）の受験資格、高校教員（福祉科）の免許を取得することができます。



社会福祉士国家試験

履修モデル 対人支援を中心に福祉の専門を深める場合～暮らしにくさをかかえる人に直接かかわる支援から社会福祉を学びたい方～

[2年]

公務員福祉職志望の場合は、社会福祉士関連科目を履修し、社会福祉学の基礎を固めつつ、公務員に向けて適的な科目を履修していくことになります。具体的には、福祉行政と経済、法入門、日本国憲法などの科目の履修が重要になります。学部が指定する公務員試験対策講座を受講し、所定の条件を満たし、キャリア形成支援として申請をすれば、単位認定を受けることが可能です(自由科目)。

[3年]

ケアマネジメント論・演習、障害者心理学、多文化ソーシャルワーク論などを通じて、幅広い観点から対人支援の専門知識・技術を身につけていきます。また、ソーシャルワークの援助技術を学び、実習を行います。実習のほかにも「在学ギャップイヤー」などの多様な学びの機会があります。さらに、外書講読などを通じて、より広い観点から学びます。

[4年]

4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。

開講学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル(推奨科目)であり他専修も履修可能	自由科目(資格独自科目を含む)	
1年	◎総合演習 4 □社会学 2 □▼心理学 2 ◎☆社会福祉入門 2 ◎☆ライフデザイン入門 2 ●▼フレッチャーマ・インク リッジ I-1 1 ●▼フレッチャーマ・インク リッジ I-2 1 ●☆フレッチャーマ・インク リッジ II-1 1 ●☆フレッチャーマ・インク リッジ II-2 1 文学 2 ●☆☆情報処理演習 I 2 ◎☆☆情報処理演習 II 2 ●ふくしとフィールドワーク 2	【全専修 共通】 □☆医学概論 2 □社会保険論 I 2 □●☆社会福祉原論 I 2 □社会福祉調査論 2 公的扶助論 2 ☆高齢者福祉論 2 ☆▼s 児童・家庭福祉論 2	【医療専修・人間福祉専修 共通】 □精神障害リハビリテーション論 2 【人間福祉専修】 障害者コミュニケーション 2	
	全学教育センター科目内、社会福祉学部の 総合基礎科目修得単位数に算入する科目 ろう文化と手話 2			
総合基礎科目_小計 26		専門科目_小計 18	自由科目_小計 0	
2年	コミュニケーション力演習 2 文章作成力演習 2 ◎s フィールド実践演習 4 福祉政治論 2 ジェンダー論 2	【全専修 共通】 □☆ソーシャルワークの基盤と専門職 I 2 ☆ソーシャルワークの基盤と専門職 II 2 □☆ソーシャルワーク I 2 □☆ソーシャルワーク II 2 □●☆社会福祉原論 II 2 □地域福祉論 I 2 □障害者福祉論 2 □ソーシャルワーク演習 I 1 ソーシャルワーク演習 II 1 ソーシャルワーク実習入門 1 ソーシャルワーク実習指導 I 1	【人間福祉専修】 ヒューマンケア論 2 災害ソーシャルワーク 2 ☆介護福祉論 2 ◎人間福祉特別講義 2	
	総合基礎科目_小計 12	専門科目_小計 26	自由科目_小計 0	
3年	死生学 2	【全専修 共通】 ☆ソーシャルワーク III 2 ☆ソーシャルワーク IV 2 □社会保険論 II 2 保健医療と福祉 2 社会福祉経営論 2 □司法福祉論 2 ソーシャルワーク実習指導 II 2 ソーシャルワーク実習 5 ソーシャルワーク演習 III 2 ソーシャルワーク演習 IV 1 ◎社会福祉専門演習 I 4 地域マネジメント実践 III 2	【人間福祉専修】 多文化ソーシャルワーク論 1 【子ども専修】 ▼家族援助論 2 s 福祉教育論 1 ▼障害児心理学 2	社会福祉特別講座 I 1
	総合基礎科目_小計 2	専門科目_小計 34	自由科目_小計 1	
4年		【全専修 共通】 □地域福祉論 II 2 □権利擁護を支える法制度 2 ●社会福祉専門演習 II 4 ◎卒業論文 2 ソーシャルワーク専門実習指導(障害) 1 ソーシャルワーク専門実習(障害) 2	【人間福祉専修】 障害者福祉論特講 2	社会福祉特別講座 II 2 社会福祉特別講座 III 2
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 15	自由科目_小計 4	
総合基礎科目_合計 40		専門科目_合計 93	自由科目_合計 5	
要卒業単位数合計		133	総単位数合計 138	

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 → 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職(高校福祉)科目、▼：保育士科目、s：スカラーシップ科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

- 卒業には124単位以上必要(総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要)
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目(資格独自科目)は含まれません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。

履修モデル 地域支援を中心に福祉の専門を深める場合 ～さまざまな人が暮らす地域に働きかける支援から社会福祉を学びたい方～

[2年]

3年次に行う実習の準備が始まります。並行して、地域福祉論Ⅰや社会福祉発達史で地域福祉の基本的な考え方や知識を学びます。福祉NP0論や地域マネジメント実践、災害ソーシャルワークなどの関連領域を学びながら、地域支援・地域福祉への理解を深めていきます。

[3年]

福祉行政論、多文化ソーシャルワーク論、地域開発論などで、地域福祉の実践に必要な専門知識・技術を身に付けていきます。また、ソーシャルワークの援助技術を学び、実習を行います。実習の他にも「在学ギャップイヤー」などの多様な学びの機会があります。さらに、外書購読や東アジアの社会福祉を通じて、より広い観点からソーシャルワークを学ぶことをおすすめします。

[4年]

4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。

開講 学年	総合基礎科目	専門科目 【 】はその専修の履修モデル（推奨科目）であり他専修も履修可能	自由科目（資格独自科目を含む）
1年	◎総合演習 4	【全専修 共通】	【子ども専修】
	□社会学 2	□☆ 医学概論 2	家族と地域の社会学 2
	□▼心理学 2	□ 社会保障論Ⅰ 2	
	◎☆社会福祉入門 2	□●☆▼社会福祉原論Ⅰ 2	
◎☆ライフデザイン入門 2	□ 社会福祉調査論 2		
●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1	□ 公的扶助論 2		
●▼フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1	☆ 高齢者福祉論 2		
●☆フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1 1	☆▼§ 児童・家庭福祉論 2		
●☆フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2 1	地域マネジメント実践Ⅰ 2		
◎☆▼情報処理演習Ⅰ 2	社会福祉発達史Ⅰ 2		
◎☆▼情報処理演習Ⅱ 2			
☆▼スポーツ 2			
●ふくしとフィールドワーク 2			
	総合基礎科目_小計 24	専門科目_小計 20	自由科目_小計 0
2年	◎§フィールド実践演習 4	【全専修 共通】	【人間福祉専修】
	福祉政治論 2	□☆ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 2	災害ソーシャルワーク 2
	ジェンダー論 2	☆ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 2	生涯学習論Ⅰ 2
	福祉データ処理演習 2	□☆ ソーシャルワークⅠ 2	
		□☆ ソーシャルワークⅡ 2	
		□●☆ 社会福祉原論Ⅱ 2	
		□ 地域福祉論Ⅰ 2	
		□☆ 障害者福祉論 2	
		□ ソーシャルワーク演習Ⅰ 1	
		ソーシャルワーク演習Ⅱ 1	
		ソーシャルワーク実習入門 1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1		
	地域マネジメント実践Ⅱ 2		
	社会福祉発達史Ⅱ 2		
	国際ソーシャルワーク研究 2		
	総合基礎科目_小計 10	専門科目_小計 28	自由科目_小計 0
3年		【全専修 共通】	【人間福祉専修】
		☆ ソーシャルワークⅢ 2	多文化ソーシャルワーク論 1
		☆ ソーシャルワークⅣ 2	生涯学習論Ⅱ 2
		□ 社会保障論Ⅱ 2	国際福祉論 2
		保健医療と福祉 2	【行政専修】
		社会福祉経営論 2	福祉環境論 2
		□ 司法福祉論 2	福祉行政とまちづくり 2
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 2	
		ソーシャルワーク実習 5	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ 2	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ 1	
	地域マネジメント実践Ⅲ 2		
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 33	自由科目_小計 1
4年		【全専修 共通】	社会福祉特別講座Ⅱ 2
		□ 地域福祉論Ⅱ 2	社会福祉特別講座Ⅲ 2
		□ 権利擁護を支える法制度 2	
		● 社会福祉専門演習Ⅱ 4	
		◎卒業論文 2	
		ソーシャルワーク専門実習指導（地域） 1	
	ソーシャルワーク専門実習（地域） 2		
	総合基礎科目_小計 0	専門科目_小計 13	自由科目_小計 4
	総合基礎科目_合計 34	専門科目_合計 94	自由科目_合計 5
		要卒単位数合計 128	総単位数合計 133

●：必修科目、◎：全員履修科目、※：隔年で開講する科目

資格対応科目 一 網掛け：社会福祉士科目、□：精神保健福祉士科目、☆：教職（高校福祉）科目、▼：保育士科目、§：スクールソーシャルワーカー科目、資格独自科目：当該課程登録者のみ履修可

[注記]

- 卒業には124単位以上必要（総合基礎科目を28単位以上、専門科目を66単位以上必要）
- 履修上限とは、1年間に履修できる総合基礎科目と専門科目の単位合計数の上限のことです。ただし、自由科目（資格独自科目）は含まれません。
- 自由科目は、単位は認定されますが、卒業要件や履修上限の単位には含まれません。
- 社会福祉士をはじめ、各種資格取得を目指す人は、上記以外に資格取得に必要な科目を履修する必要があります。必ず学部ガイドの該当資格のページを確認してください。